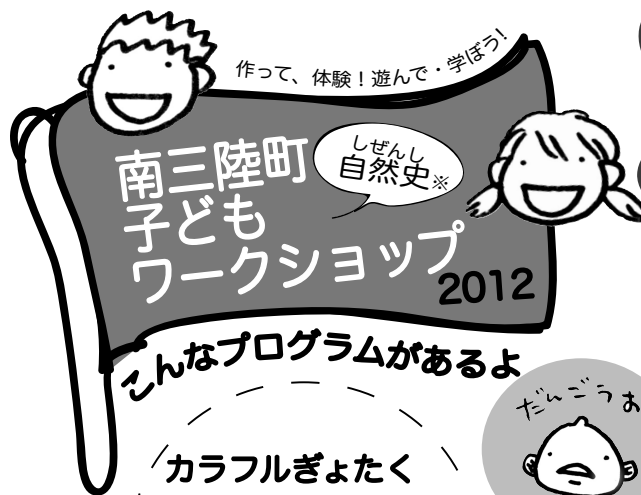




10月13日(土)

歌津 平成の森アリーナ

10月14日(日)

戸倉 漁協産直&体験施設(仮)

13:00~16:00

入場無料

民宿青島荘跡地に
10月
OPEN!

こんなプログラムがあるよ

カラフルぎょたく

本物そっくりの魚を使って、色とりどりの魚拓をつくろう！
南三陸の海でとれたサケ・フグ・トビウオ、ヒラメたちがまってるよ。

海と森のモビールづくり

南三陸の海と森の生きものたち。つないでつくろう！

化石レプリカストラップ

南三陸で発見された、有名な貝化石モノティスのレプリカにべたべた色ぬり。自分だけの化石ストラップをつくっちゃおう！

ぺたぺたバッグ

ダンゴウオにクチバシカジカ、イヌワシ、カモシカ、ムササビ。南三陸の生きものの消しゴムはんこがずらり。オリジナルバッグのできあがり。

VISCUIT (ビスケット)

タブレットでデジタルアート！みんなが描いた絵が、大画面で動き出す！

はりはり☆宮城の化石はりえ

むかしの海にすんでいた、ウツギョリュウ、アンモナイト、古代ザメ・ヘリコプリオン。カードをえらんではりえしよう。キミも宮城の化石はかせだ！

スポンジぬりえ

きれいな絵の具をスポンジにつけてポンポンおして…すてきなグリーティングカードをつくろう。

実物大！イヌワシを切りぬこう！

南三陸の町の鳥、森の王者イヌワシ。ほんとの大きさ、どれくらい？※13日(土)のみ開催

何モン？

※自然史って何モン？

生きものがどこからやってきて、いまどうしているのか、自然のことをしらべることを「自然史研究」というんだ。南三陸の自然を研究するひとたちが、みんなに、自然の不思議やヒミツを知ってほしくて、このイベントをつくったよ。

ネイチャーセンター 復活プロジェクトコーナー2012

南三陸の海の研究と教育を活動の柱に、海藻おしば講座、スノーケリング講座、磯観察、地元の漁業を学ぶプログラムなどを行ない、10年間で約25,000人の利用を受け入れた全国でも類を見ない「町立の海の研究所」であった南三陸町自然環境活用センター(志津川ネイチャーセンター)は、津波にそのすべてを流されました。でも、悲しんでばかりいたわけではありません。よみがえっていく海の自然を記録し、将来に伝えるため、センターの復活プロジェクトが始まっています。センターの元職員、研究者、臨海実習を体験した高校生、教員、民宿経営者など、たくさんの人たちがセンターの再生を願い、動いています。そんな「南三陸ネイチャーセンター友の会」の活動を報告します。

問合わせ：南三陸ネイチャーセンター友の会(藤田)

メール：info@rias-nature.jp

当日連絡先：080-4339-8823

共催：南三陸ネイチャーセンター友の会

NPO法人 大阪自然史センター・NPO法人 海の自然史研究所(代表)

後援：南三陸町教育委員会、南三陸町観光協会、宮城県漁業協同組合志津川支所

協力：東北大学総合学術博物館・大阪市立自然史博物館・イヌワシの森倶楽部・南三陸ふるさと研究会・水辺の教育メディア研究会・Marble Workshop・saveMLAK・NTTコミュニケーション科学基礎研究所・西日本自然史系博物館スタッフ有志・なにわホネホネ団・小田隆(成安造形大学)・しがNPOセンター

…海モン、森モン、骨モン、サーモン、ぜったい楽しいモン！

このワークショップの催行にあたり、NPO法人海の自然史研究所は独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の平成24年度特別助成を、NPO法人大阪自然史センターはJR西日本あんしん社会財団の助成を受けています。

モサン

サケの一生 旅すごろく

自分だけのサケのコマをつくって挑戦しよう！川も海も危険がいっぱい。君のサケはたくさんの苦難をのりこえ、無事うまれた川までもどることができるかな？

モ骨

ウツギョリュウ いまどこ？コーナー

ぼくらのギョリュウは今どこで何してるの？標本レスキューのようすをパネルで紹介します。(協力：東北大学総合学術博物館)

モこ

キッズ☆コーナー

絵本やおりがみで自由にあそべるスペース。大きな恐竜ぬいぐるみがあむかえします。小さなお子さんがある方も、どうぞ遊びにきてくださいね。

みんなできてね
まってるよ！

MON²!
 まるごとみなみさんりくもんもん